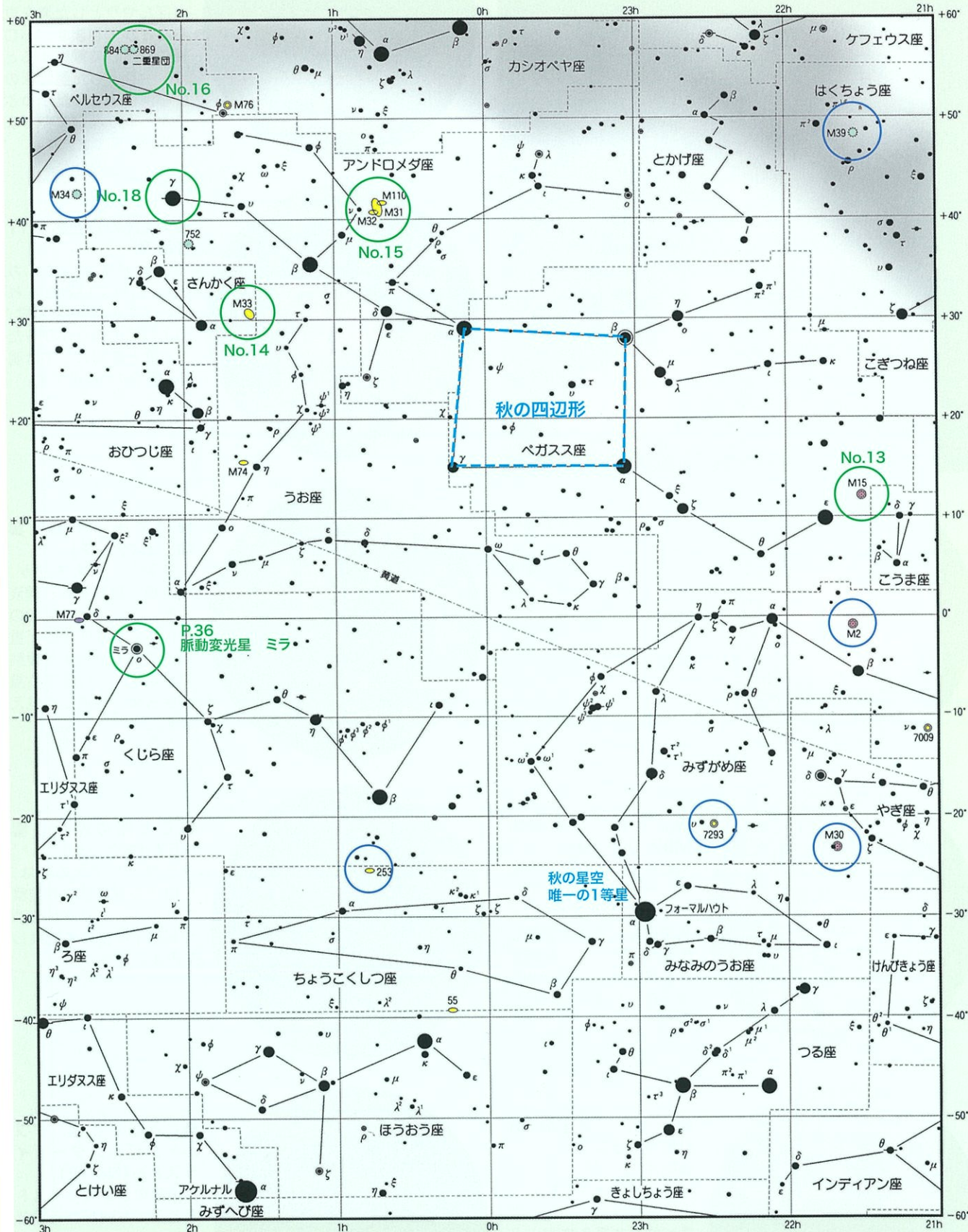


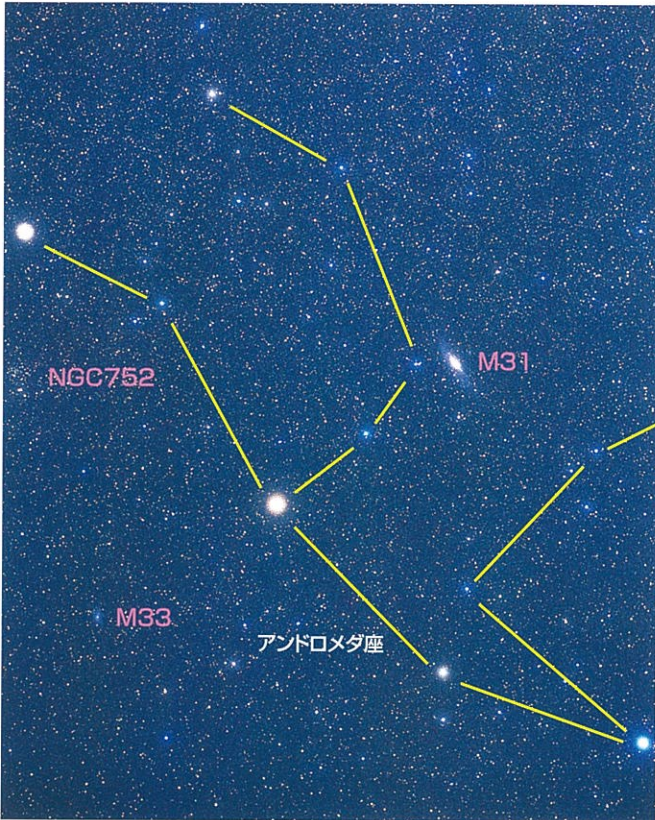
# 秋の星空散歩

## 星空ガイドマップ



● 0等星~6等星   ● 変光星   ● 重星   ● 銀河   ● 散光星雲   ● 散開星団   ● 球状星団   ● 惑星状星雲

○ 本文中に解説があるもの   ○ その他の興味深い天体



●ペガサス座の球状星団 M15 (No.13)  
小口径ではぼんやりとした星雲状に見えます。口径8cm以上で倍率を上げると周辺の星粒が見えてきます。口径20cm以上の望遠鏡で見ると、中心部まで星がぎっしりと詰まった球状星団特有の姿が見えてきます。



●さんかく座の渦巻銀河 M33 (No.14)  
望遠鏡では広がりのある星雲状に見えます。15cmを超える口径の望遠鏡で観察すると銀河特有の渦巻構造が見えてきます。



●アンドロメダ座の大銀河 M31 (No.15)  
アンドロメダ座に位置する肉眼でも見える渦巻銀河です。さんかく座銀河、私たちの銀河系、大マゼラン銀河、小マゼラン銀河などとグループを形成しています。望遠レンズで撮影すると渦巻構造がはっきりと写ります。



●アンドロメダ座の大銀河 M31 (スケッチ)  
空の美しい場所では、肉眼で見えます。中心部分に渦巻状の銀河の腕部分が取り巻いているのがわかります。直径が20万光年以上(私たちの銀河の2倍以上)ある巨大な銀河で、1兆個以上の恒星から構成されています。



●ペルセウス座の二重星団 (No.16)  
天の川が見える場所では、肉眼でも天の川が濃くなったように見えます。写真にも写しやすい対象の1つです。



●ペルセウス座の二重星団 (スケッチ)  
望遠鏡で見ると、星団の中に赤い星がまぎれこんでいるのもわかり、その色合いの違いが観察できます。双眼鏡でも望遠鏡でも楽しめます。



●ケフェウス座のクルーガー60(イラスト) (P.46/No.17)  
太陽より小さな暗い赤色矮星2つからなる連星です。共通重心を44.6年の周期で公転しています。



●アンドロメダ座の<sup>ガンマ</sup>γ星(イラスト) (No.18)  
アルマクとよばれる重星で、はくちょう座アルビレオ、りょうけん座コル・カロリとともに、色の組合せがもっとも美しい重星として知られています。